

講義名	経済学入門（1年生のみ）（クラス指定）		
科目区分	専門基礎		
担当教員	中島 孝子		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 3時限	授業形態	
	2020年度 人間社会学部 人間健康学科/2020年度 人間社会学部 観光学科/2020年度 人間社会学部 人間社会学部 2020年度 経済学部 経済情報学科/2020年度 経済学部 経済学科/2020年度 商学部 マーケティング学科/ 2020年度 商学部 経営学科/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
<p>資金や物価（インフレやデフレ）の問題、あるいは為替レートの問題など、日々の新聞やニュースで経済問題が報じられない日はありません。このような経済問題を理解する道具としての経済学の基礎を学びます。</p> <p>具体的には、現在の経済理論における大きな柱であるミクロ経済学とマクロ経済学の基本部分を講義します。ミクロ経済学では、われわれの経済活動を支えている市場の役割と限界を勉強します。また、マクロ経済学では、経済活動の規模を測る指標であるGDPなどにふれます。経済理論は一見すると難しいと感じるでしょう。できるかぎり具体例にふれながら説明します。</p>			

到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・経済学の方法論や考え方を身につける。 ・現実の経済問題を理論的に捉えることができるようになる。 			

提出課題			
提出課題として、宿題や小テストなどを課すことがあります。詳細は授業中に指示します。			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
課題提出後、解説や講評を行います。			

評価の基準			
<p>成績は100点満点で評価し、60点以上が合格です。 配分は定期試験70%、平常点30%（提出課題を含む）です。 昨年は履修登録者の89%が定期試験を受験し、その87%が合格しました。</p>			

履修にあたっての注意・助言他			
<p>授業中は内容に集中して受講してください。 新聞やテレビで報道される経済に関するニュースに関心を持ち、つとめて新聞を読んだりニュースを見るようにしてください。 授業中の私語、遅刻・途中退室などの妨害行為、迷惑行為は厳禁です。</p>			

教科書			
・マンキュー入門経済学（第3版）	N.グレゴリー マンキュー	東洋経済新報社	3,520

プリント資料及び参考文献			
必要に応じてプリント資料を配付します。			

授業計画			
<ol style="list-style-type: none"> 1 経済学の十大原理（第1章）（1）経済学とは、トレードオフ、機会費用、合理的意思決定、インセンティブ 2 経済学の十大原理（第1章）（2）取引、市場、政府、生産性、物価、インフレと失業 3 市場における需要と供給の作用（第4章）（1）市場と競争 4 市場における需要と供給の作用（第4章）（2）需要と競争 5 市場における需要と供給の作用（第4章）（3）供給 6 市場における需要と供給の作用（第4章）（4）市場均衡 7 消費者、生産者、市場の効率性（第6章）（1）消費者余剰 8 消費者、生産者、市場の効率性（第6章）（2）生産者余剰 9 消費者、生産者、市場の効率性（第6章）（3）市場の効率性 10 市場の失敗、外部性（第7章）（1）外部性 11 市場の失敗、外部性（第7章）（2）市場の非効率性 12 国民所得の測定（第8章）（1）国内総生産の意味、測定、構成要素 13 国民所得の測定（第8章）（2）実質と名目、経済厚生 14 生計費の測定（第9章）消費者物価指数、物価変動 15 生産と成長（10章）経済成長、生産性 			

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
予習：毎回教科書の該当範囲を読んで理解してください。わからない部分について調べたり考えたりしてください（2時間/回）。	
復習：配布資料と教科書に基づいて、復習をしてください（2時間/回）。	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
レスポンスを用いてアンケートなどを実施します。	

実務経験の有無及び活用	

備考	